

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	商工業若手経営者グループ育成事業	所管	市民経済部 商工労政課
			Tel 2998-9155

事業の目的 (何の為に 行うか)	経営者の自主的、創造的な経営研究活動を促進し、近代的な経営技術を実践する能力を養成するとともに、経営意欲を高め、将来の商工業に新たな展望を備えた若手経営者グループを育成することを目的としている。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	自主的、創造的な経営研究活動を通じて、近代的な経営技術を実践しようとする意欲のある商工業の若手経営者グループ	対象とした数	2	団体
		実際に 利用した数	2	団体

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的経営技術の確立を目的とした自主的、創造的な経営研究活動を実施しようとする若手経営者グループを広報等で募集する。 ・本事業を実施しようとする若手経営者グループは事業計画書を市長に提出し、承認を受けた場合、市が補助金の交付手続を行うものである。 ・グループの基準は、構成員が5人以上で、その8割以上が45歳未満であることなどである。 							
		活動実績	項目名	事業実施日数	70	項目名	事業参加人数	2067	項目名
				----- 単位 回			----- 単位 人		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	400	400	1,245	3.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	若手経営者数	事業に参加した若手経営者の数	20	18	90.0
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	031100	TEL	2998-9155
事業コード	031107	商工業若手経営者グループ育成事業	市民経済部 商工労政課			
開始年度	昭和 57 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	商工振興担当			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令		
	分野別計画・指針					商工業若手経営者グループ育成事業実施要領	
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	政策	第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	2節 商業	中柱	2 経営基盤の強化
						小柱	(1)人材の育成
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 20 位							・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○
行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
コード							コード
事業開始の背景	所沢市は、東京のベッドタウンとして発展してきたため、商工業の振興施策に不十分な面があった。こうした状況の中で所沢の商工業の発展を効率よく推進するために、経営者の資質向上、とりわけ若手経営者の育成が極めて重要であるという観点から本事業を開始したものである。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	経営者の自主的、創造的な経営研究活動を促進し、近代的な経営技術を実践する能力を養成するとともに、経営意欲を高め、将来の商工業に新たな展望を備えた若手経営者グループを育成することを目的としている。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	自主的、創造的な経営研究活動を通じて、近代的な経営技術を実践しようとする意欲のある商工業の若手経営者グループ			補助金の交付を受けた団体					
	対象数	単位	平成 18 年度	1	団体	利用数	単位	平成 18 年度	1
		平成 19 年度	2	団体			平成 19 年度	2	団体
事業の具体的な内容及び実施方法									
・近代的経営技術の確立を目的とした自主的、創造的な経営研究活動を実施しようとする若手経営者グループを広報等で募集する。 ・本事業を実施しようとする若手経営者グループは事業計画書を市長に提出し、承認を受けた場合、市が補助金の交付手続を行うものである。 ・グループの基準は、構成員が5人以上で、その8割以上が45歳未満であることなどである。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
それぞれの若手経営者グループの研修会に、商工労政課担当職員も参加し、知識の習得に努めた。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		400	400	400	
	決 算 (見込み含む)		200	400		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.05 人	460	0.09 人	845
	公債費					
	事業費合計		660	1,245		
	財源内訳	一般財源		660	400	400
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		2.0	3.7			
利用数一単位あたり(単位:円)		660,000.0	622,730.0			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	事業実施日数	回	70	70		
		事業参加人数	延べ人数(来場者含む)	人	1,200	2,067	
	成果分析	若手経営者数	事業に参加した若手経営者の数	人	目標値	20	20
				実績	9	18	実績値の拡大を図る1
%				達成率	45.0	90.0	実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	当補助金の活用を申請する若手経営者グループの数が必ずしも多くない状況にある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	当補助金を活用する若手経営者グループによる具体的な活動の増加を促す	補助対象となる団体において、具体的な成果につながる事業の実施を促す		平成20年度
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
中小企業の後継者不足が深刻な問題となっている状況にあることに加え、経済の活力を与える意味でも、若手経営者を育成していく意義は大きく、事業を継続していくものである。 一方、当該事業の活用を申請するグループが多くない状況を踏まえ、事業内容を広く周知するとともに、実際に活用したグループにおける成果をPRしていく。					
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	商工労政課長 尾村俊和		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨評価	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎個別計画における方向性				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					